

## 秋の叙勲「瑞宝単光章」を受章 貝瀬 悦夫さん〔吉山〕

貝瀬さんは、昭和55年4月に塩沢町消防団に入団し35年の長きにわたり消防団員として尽力され、平成23年4月からは南魚沼市消防団長を務めました。団員同士のつながりを重要視した活動を行い、平成23年7月に発生した新潟・福島豪雨では、市内の消防団と連絡を密にして状況を把握し、各地の活動を指揮しました。また、平成26年に発足した南魚沼市消防団女性消防隊の設立にも貢献されました。

貝瀬さんは「よい仲間にも恵まれました。他市の消防団と積極的に交流して情報収集を行い、消防団を活性化させるために話し合いを重ねたことは、とてもいい思い出です」と語りました。



## 秋の叙勲「瑞宝単光章」を受章 北村 利市さん〔東泉田〕

北村さんは、昭和41年に旧郵政省に採用され、六日町郵便局で34年間勤務し、平成12年からは広神郵便局〔魚沼市〕に配属されました。平成15年に退職されるまで、郵便や保険・貯金などの業務を務められました。特に、郵便の集配業務については、地域のみなさんとのコミュニケーションを大切にしながら、誤配達防止や効率的な配達を計画するなど、郵便環境の向上に力を注がれました。

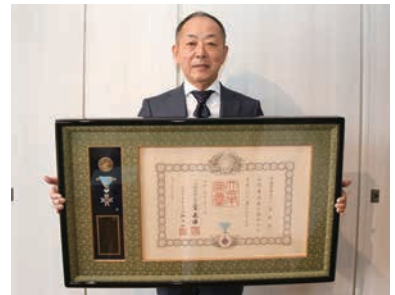
北村さんは「今の私があるのは、恩師、先輩、仲間、地域のみなさんのお力添えのおかげです。何とお礼を言ってもいいかわからないほどの感謝の気持ちです。ありがとうございます」と語りました。



## 第35回危険業務従事者叙勲「瑞宝双光章」を受章 八木 逸郎さん〔寺尾〕

八木さんは、昭和49年に魚沼消防事務組合に消防士として採用され、平成28年に南魚沼市消防本部長として退職されるまで42年間の長きにわたり消防活動に力を注がれました。昭和52年の上越新幹線湯沢トンネル内の火災事故での救出活動や、平成24年の国道253号八箇峠トンネル内爆発事故発生の際は調整本部で現場の指揮にあたるなど大きな災害現場でも尽力されました。

八木さんは「自分一人の力ではなく、諸先輩方がご尽力されてきた礎<sup>いしづえ</sup>があってこそ活動を続けることができたと思います。家族を含め、私に関わっていただいたすべてのみなさんに心より感謝しています」と語りました。



## 第35回危険業務従事者叙勲「瑞宝双光章」を受章 久川 守さん〔泉〕

久川さんは、昭和52年に神奈川県横須賀市の陸上第1教育団に入隊し、平成30年に3等陸佐として退職されるまで、42年間の長きにわたり全国各地で国民の安心安全を守るために尽力されました。部隊の規律維持、隊員の育成や能力向上に努められたほか、東日本大震災など多くの災害現場に派遣され、部隊の活動環境を整えるなど救助活動の支援にも力を注がれました。退職後は地域に貢献したいという思いから、市内の学童保育で児童の活動などをサポートされています。

久川さんは「この受章は、困難を救ってくれた先輩や同僚を含め、家族、地域のみなさんの支えのおかげです。感謝しています」と語りました。



## 第35回危険業務従事者叙勲「瑞宝単光章」を受章 野牧 秀雄さん〔栄町〕

野牧さんは、昭和41年4月に新潟県警察官となり、39年間という長年の警察功勞により受章されました。小出署、高速道路交通警察隊の長岡分駐隊など7か所で勤務され、その多くを交通課に在職し、平成17年の退職まで交通事故防止のために尽力されました。交通事故の取り調べでは、相手に寄り添って事情を聞き、再度事故に遭うことがないように熱意を持って対応する姿勢を貫きました。

野牧さんは「先輩や後輩、助けてくれた多くの人のおかげで長年無事に勤めることができ、受章することができました。父と親子2代で受章できたこともとてもうれしく思います。感無量です」と語りました。

